

平成 31 年 1 月 22 日

消化器外科 1 の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 胃癌に対する外科治療の短期及び長期予後に関する検討 後ろ向きコホート研究」 への協力をお願い

消化器外科 1 (第 1 外科) では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象： 2004 年 6 月～ 2018 年 12 月に当科において、胃癌に対し胃切除術（胃部分切除、幽門側胃切除、噴門側胃切除、胃全摘術）、バイパス術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2019 年 12 月 31 日

研究目的・方法：

手術治療や抗がん剤治療など医療の進歩により胃癌の治療成績は向上していますが、再発することもまれではない癌であり、さらなる治療成績の向上が望まれます。

また胃癌に対する手術は従来開腹手術で行われていましたが、近年低侵襲手術として、腹腔鏡下手術も広く行われるようになりましたが、その治療の安全性も担保しながら、長期成績が従来の方法と比較して劣らないもしくは良好であるかなどの検討が必要です。

この研究では、胃癌に対し外科治療を受けられた患者さんの以前のデータを解析し、胃癌に対する外科治療において、どのような因子が術後合併症や長期予後に影響を与えるかを調べることを目的とします。そしてそれらの因子を改善することにより胃癌の治療成績を向上することを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

当科で胃癌に対する外科治療を受けられた患者さんのデータは診療記録（電子カルテ、診療用データベース）から抽出します。抽出するデータは、疾患名、手術内容（術式、手術時間、出血量など）、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査など）、術後合併症、術後経過などで、日常診療において行われたデータです。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科 1（第 1 外科・高度先進外科）

電話番号 058-230-6325（医局）

氏名：村瀬 勝俊

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科 1（第 1 外科・高度先進外科）

氏名：村瀬 勝俊